

# 第52回定時株主総会



2021年6月29日

**1 事業報告**

**2 計算書類報告**

# 事業の経過及び成果

1

## 経営環境

### 日本経済

- 世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響
- 変異型ウイルスによる感染拡大
  - ▶ 三回目の緊急事態宣言が発出

厳しい状況が継続するものの  
ワクチン接種が進み、経済活動正常化の動き

# 1

## 経営環境

### 国内航空業界

- 国内線
  - ▶ 政府のGoToトラベル事業の効果もあり一時は戻りの動きが見られる
  - ▶ 感染再拡大による影響を受け旅客需要が低下
- 国際線
  - ▶ 渡航制限の厳格化

本格的な回復には時間がかかるが  
徐々に回復を見込む

1

## 連結業績

売上高 241.5億円 前期比 ▲2.8%

営業利益 38.3億円 前期比 ▲8.4%

経常利益 36.1億円 前期比 ▲4.8%

親会社株主に帰属する  
当期純損益 ▲9.3億円 前期 22.2億円

1

## 連結業績

売上高 241.5億円 前期比 ▲2.8%

営業利益 38.3億円 前期比 ▲8.4%

経常利益 36.1億円 前期比 ▲4.8%

親会社株主に帰属する  
当期純損益 ▲9.3億円 前期 22.2億円

# セグメント別の業績

1

## 不動産賃貸事業

- ⊕ 羽田空港のテクニカルセンター倉庫棟、アークビル機内食工場、神戸空港の格納庫増築棟の通年稼働
- ⊖ 省エネ化推進に係る修繕費の増加
- ⊖ 国際学生寮に係る公租公課の計上

売上高

189.4億円

(前期比+1.1%)

営業利益

29.2億円

(前期比▲5.3%)

1

## 熱供給事業

- ① 新型コロナウイルス感染拡大の影響等による需要減
- ② 羽田の第2ターミナルビルで一部増築
- ③ 燃料費や修繕費が低減

売上高

33.7億円

(前期比+3.2%)

営業利益

10.9億円

(前期比+29.3%)

1

## 給排水運営その他事業

① 空港利用者の激減に伴う  
給排水使用量減

売上高

18.3億円

(前期比▲35.7%)

営業損益

▲1.8億円

(前期 2.5億円)

# その他の事項

招集ご通知 18～38ページ

## **2 計算書類報告**

# 連結貸借対照表

招集ご通知 39ページ

## 2

## 連結貸借対照表

(億円)

資産の部		負債の部	
流動資産	222.0	流動負債	105.1
		固定負債	349.4
固定資産	782.2	負債合計	454.6
		純資産の部	
資産合計	1,004.2	純資産合計	549.6

# 連結損益計算書

招集ご通知 40ページ

# 連結株主資本等変動計算書

## 連結注記表

招集ご通知 41～50ページ

**貸借対照表  
損益計算書  
株主資本等変動計算書  
個別注記表**

招集ご通知 51～62ページ

# 3 対処すべき課題

招集ご通知 21～22ページ

### 3

## 対処すべき課題

### 新型コロナウイルス感染拡大による事業への影響

- 羽田空港・新千歳空港における給排水使用量の減少
- 航空関係テナントに対する賃料債権の免除
- 京都のホテル用賃貸物件に関して一部減損認識し、特別損失を計上

中期経営計画(2019年度～2021年度)にも大きく影響し  
2021年度は所要の見直しを行う

# 3

## 対処すべき課題

### 不動産賃貸事業

- 長年事業を行ってきた強みを最大限に活かす
  - ▶ 引き続き事業の拡大を図る
- 空港内における既存施設の設備更新と修繕を推進
  - ▶ 品質・顧客満足度・入居率の向上
- 羽田空港旧整備場地区の施設の再開発の動き
  - ▶ 積極的に企画調整を推進

# 3

## 対処すべき課題

### 不動産賃貸事業

### 空港外

- ホテル向け賃貸事業は厳しい状況が継続
  - ▶ 収益性を慎重に判断し、適切な対応を行う
- 2021年3月 金沢八景国際コミュニティプラザの竣工



# 3

## 対処すべき課題

### 不動産賃貸事業 海外

- 情報収集・営業力の強化
  - ▶ シンガポール事務所を開設し  
現地法人の体制を充実
- 空港機能施設や動産リース等の  
事業機会を模索し新規投資を実現
  - ▶ 事業の拡大へ



# 3

## 対処すべき課題

### 熱供給事業

- 羽田空港の旅客ターミナルビルの拡張整備計画
  - ▶ 供給体制の拡充方策等の検討を推進
- 環境対策推進
  - ▶ CO2の削減、供給の効率化、施設運用方法の改善に取り組む

### 3

## 対処すべき課題

### 給排水運営その他事業

- 2020年3月以降  
羽田空港等の使用量が大幅に減少
  - ▶ 収支的にも厳しい状況

感染が収束し航空旅客が戻るにつれ  
徐々に安定した事業となる見込み

# 3

## 対処すべき課題

### 環境問題に関する取り組み

- 「空港分野におけるCO2削減に関する検討会」に参加
- 「環境事業推進プロジェクトチーム」の立ち上げ
  - エコエアポート化の検討
  - バイオマス発電の推進
  - 水素・燃料電池等を活用した分野への展開
  - 長期的なCO2削減計画の策定





今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう  
お願い申し上げます